

木原 (K I H A R A) っ子スタイルめざす授業構造(R3)

※ コロナウイルス感染状況を見て、十分な対策をしながら、子どもたちの学びの充実に向けて、できることから取り組んでいきましょう。
美浦村立木原小学校

K I . . . 「基礎基本」を繰り返そう！

H A . . . 「ハーモニー」一人一人の考えを大事にしたチーム学習で意見をつなぎ、高めよう！

R A . . . 「楽々学び」を表現しよう！

・何を学ばせたいのか、どんなことを感じてほしいのか、毎時間の教師の明確で強い意志が大前提。

| 過程 | 指導者 | 児童 | 留意事項・ICT | 児童の意識調査からの改善事項・留意点(*) |
|----------------------|---|---|--|--|
| つかむ 学び合い1 | <p>本時めあての提示(黄枠) 問題提示(生活体験や具体物の提示)</p> <p>○ICTの活用(電子黒板・タブレット・実物投影机・デジタル教科書・教材)</p> <p>○学習の流れを示す。</p> <p>・既習事項の確認、解決の方向性を確認し、どの児童も、学習の見通しをもって自分タイムに入っていくように支援をする。</p> | <p>わくわくタイム</p> <p>○本時のめあて(課 ④)をノートに記入し黄枠で囲む。</p> <p>○本時の問題をつかみ、見通しをもつ。黒枠(問・⑤)</p> <p>○本時の学習の流れをつかむ。(③・②)</p> <p>○黒板に背を向けない。</p> <p>男 女 女 男</p> <p>or</p> | <p>○課題把握で前時の復習をする。(前時との違い・ステップアップの仕方・次にどうつながるか)</p> <p>○ICTレディネス作り <u>既習の知識確認、児童の興味関心を高めるための働きかけ(映像、実物)</u></p> <p>○ICTレビュー(前時のノートきらきらを画面に写す)</p> <p>○電子黒板で課題を把握させる。</p> <p>○操作活動を工夫して、本時で身に付けるべきスキルを押さえ、自分タイムに入る場合もある。</p> | <p>△何をすればいいのかわからない。</p> <p>↓</p> <p>*課題を文章化した後、具体的にかみくだく。 *課題は「...どのようにしたらよいでしょう。」等のように、きらきらで何ができるようになったかを表せるように設定する。 *教えるべきこと、考えさせるべきことを区別し、教えるべきことをきちんと教える。 *前時の学習を振り返る。 *キーワードや重要な視点を押さえる。 *実物を見せて興味を高めイメージを明確にする。 *教科に合わせて課題を立てる。</p> |
| たどる | <p>児童理解の時間(机間指導)</p> <p>○思考のポイントを明確に示す。</p> <p>○ノートへの表し方に着目し思考過程を把握する。</p> <p>○10分程度で考える。</p> <p>○児童の個々の思考を分類</p> <p>○ヒントカードの提示</p> | <p>自分タイム</p> <p>○ノートに自分の考えを書く。言葉で、図で、絵で、関係図で線分図で整理していく。(考えの根拠・理由も表現できるようにする。)</p> | <p>○自分タイムは一人一人の思考・見方を見る。</p> <p>○短く要点を絞って文章を書く。→枠で囲むなど構造的に</p> <p>○多様な考えができる児童を大切に、結果より過程を大切に。</p> <p>○調べ学習タブレットPC(インターネット・デジタルコンテンツ)</p> <p>○児童の思考を助けるタブレットPC・ワークシートの作成</p> <p>○教師の働きかけによるつなぎ合い(児童と児童)</p> | <p>△自分一人で考えるのが難しいときや<u>考えに自信が持てず、不安なとき</u>がある。</p> <p>↓</p> <p>*全体的に理解が低いとき、反応が弱いときは活動を止めて指導する。(ヒントカード等) *時間を区切って活動させる。 *既習事項を掲示したり助言したりする。 *表記の仕方について定型文を掲示し、表現に慣れさせる。 *机間指導を行い、よくかけている個所に○をつけ、自信をつける。</p> |
| つなぎ高め合う 学び合い2 | <p>調整する(コーディネート)</p> <p>○ねらいに沿ったものを絞り込む。</p> <p>○話し合いが成立しているかを机間指導する。</p> <p>○違う方向にいきそうになったら本時のめあてに立ち戻る。</p> | <p>チームタイム (3,4人)</p> <p>○友達とチームを組んで互いの意見を交換し合う楽しい時間とする。</p> <p>○お互いの考えを聴き合う。</p> <p>○みんなでチームとしての意見を創り上げる。</p> <p>○比較し合う。</p> | <p>○いろいろな考え方・解決の方法・手順を明確に</p> <p>○間違っているところ→「たりない部分」「惜しい部分」 チームごとに静かに支援していく。</p> <p>○ずれを感じたら、どこまで分かっているのか、問題になっていることをはっきりさせ、ずれの解消を図る。</p> <p>○話の内容が本時のめあてから脱線していたら、本時のめあてを確認させる。</p> <p>○複数のタブレットPCor一台で。</p> <p>○何についての話し合いが焦点化を図る。</p> <p>○チームごとの意見を自分達で比較検討して、つなぎ合い、まとめる。</p> | <p>△考えがうまくまとまらず、発表できない。 △<u>何について話し合っているのかわからない。</u></p> <p>↓</p> <p>*話し合いが拡散か集約かを明確にもつ。(教師) *話し合いをするとき、話し合いの仕方を身に付けさせる。 *話し合いの手本や流れを確認する。 *グループ構成(3から4人・男女混合) *司会・発表など全員で役割を分担し、どの役もできるようにする。 *赤白帽子やハンドサインを活用し、自分の考えをもって話し合いに参加する。</p> |
| 繰り返す | <p>○ねらいに沿ったものを全体の前に取り上げ、分かりやすく板書するなどして絞り込んでいく。</p> | <p>全体タイム</p> <p>(コの字の隊形もしくは全員前向き)</p> <p>○全体に意見を出す。</p> | <p>○意欲の継続、意図的な指名、順序・比重を考える。</p> <p>○繰り返し・高める方向へ教師が導く。</p> <p>○学習形態の変化によりメリハリをつける。</p> <p>○プレゼンを行う。(タブレットPC、電子黒板使用)</p> <p>○全体の比較検討の時、電子黒板を4分割の画面で話し合う。</p> | <p>△自信がなくて手が挙げられない。 △<u>考えがうまくまとまらない。</u></p> <p>↓</p> <p>*ハンドサイン、ネームカード等で自分の意志(意見)をみんなに知らせる。</p> |
| 振り返る 学び合い3 まとめ | <p>フィードバック</p> <p>○個々の児童の声に耳を傾け、指導の修正・改善に役立てる。</p> <p>○本時のねらいについて児童の<u>学びの深さを確認</u>する。</p> | <p>きらきらタイム (形態の工夫)</p> <p>○解決に至った道筋、その過程を思い出しながら、本時の授業を振り返る。</p> <p>(きらきらを書き、赤枠で囲む ⑥)</p> | <p>○学びを自分自身で振り返り友達にも認めてもらい、教師から温かい言葉かけを送ることで、児童も教師もお互いに成長を実感できるようにする。力が湧いてくるような大切な時間にする！</p> <p>○電子黒板などでノート(きらきら)の提示をする。</p> <p>できた、できないだけではない、学びの過程を大切に。児童が教師から与えられたりやらされているのではなく、自分から学びの道をつくっていくようにする！</p> | <p>△<u>書くことが考えられない</u>ときがある。</p> <p>↓</p> <p>*きらきらの視点を明確にする。 ①できるようになったこと ②よく理解できなかったこと ③さらにチャレンジしていきたいこと</p> <p>*きらきらの具体的な視点を提示するア、はじめの自分 イ、試行錯誤しているとき ウ、影響を受けた友達 エ、わかったこと</p> <p>*振り返りの仕方の型を示す。また、よいものを意図的に発表させる。 *振り返りカード(項目を立て、○△や言ばで記入する。) *何について書くのか明確にする。</p> |